

1. 目指す学校像

建学の精神である「力の人」、そして「高い志」「豊かな感性」「他への思いやり」という3つの教育理念を踏まえ、主体的に未来を創る女性を育てる。

「自学主義」の伝統に則り、知識蓄積と知識活用を両輪に「対話的で深い学び」を軸とした、21世紀型の学力を身につける授業を展開する。

2. 中期的目標

5ヶ年計画（2016～2020）

1. 教育力の強化
2. 組織力の強化
3. 財務力の強化

上記3点を目標に改革を進める。

1. 教育力の強化

（1）生徒学力の向上

- ① 模試偏差値と大学入試結果向上を目指す。
- ② コース毎に必要なとされる高い教育力・授業力を実現するため、教員研修を実施する。
- ③ 生徒の多様な希望に応じたきめ細かい進路指導を行う。
- ④ 生徒の基本的な生活習慣を確立する。

（2）学習環境の増強

- ① ICT を利用した個別の学習機会を拡大する。

（3）指導体制の充実

- ① エンロールメントマネジメントを実施し、成績等の生徒情報をビッグデータ化する。
- ② 進路分析会を実施し、模試成績による現状把握と教員間での目標共有を行う。
- ③ シラバス見直しを行い、コース・学年の資格取得や模試偏差値に目標を設定する。

2. 組織力の強化

（1）ガバナンスの強化

- ① 予算編成を複数年化する。
- （2）教職協働による組織風土の改革
- ① 入試に係るデータ分析の精度向上を目指す。
- ② 事務機能を強化し、教職協働を促進する。

（3）教育環境の整備

- ① 生徒数に対して適正な教室数を確保する。

3. 財務力の強化

（1）募集強化による予算基盤の安定

- ① 中学での入試行事参加者を増やし、実出願率の上昇を目指す。
- ② 高校での入試行事参加者を維持し、専願者数の上昇を目指す。

自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見

自己評価アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>本校では「部署毎の年度総括」「保護者評価アンケート」「生徒授業アンケート」の3種類の資料を元に自己判断を行っている。</p> <p>(1) 教育課程について</p> <p>教育課程の適切な整備については、80%が肯定的な意見、進路指導体制については73%が肯定的な意見を述べている。いずれも昨年比で満足度が上昇しており、更なる増加を目指す。</p> <p>(2) 学習指導について</p> <p>学力向上や学習内容の定着について、61%が肯定的な意見を述べている。生徒に行っている学期毎の授業アンケートを教科で精査し、個々の授業の質を高める。</p> <p>(3) 進路指導について</p> <p>進路指導の充実、進路情報の提供について、肯定的な意見は68%であった。進路説明会の時期や内容を精査し、生徒の希望する進路を実現させることで満足度の向上を目指す。</p> <p>(4) 生徒指導について</p> <p>生活指導の充実、人権教育の充実、差別やいじめの防止に関する肯定的な意見は昨年に引き続き80%近くとなり、現行の指導を継続する。</p> <p>(5) 課外活動について</p> <p>学校行事の充実に対する肯定的な意見は76%、部活動と学習の両立は79%に達している。部活動ガイドラインの実践が高い満足度につながっていると推測され、現状の維持を目指す。</p> <p>(6) 安全管理</p> <p>登下校の安全や交通マナーへの指導は肯定的な意見が82%を超えている。施設の安全性と衛生的な管理は肯定的な意見が90%近くになり、昨年に引き続き、保護者の高い満足を得た。</p> <p>(7) 情報発信</p> <p>授業参観やPTA行事の頻度は、90%近くが肯定的な意見を持っている。学校からの情報発信についても、80%以上が肯定的であり、今後も同様に適切な時期の発信を続ける。</p> <p>(8) その他</p> <p>入学させてよかったとの意見は昨年に引き続き80%を越えた。一方で、教員間の一貫した対応について、肯定的な意見は65%であった。教育研究委員会による実践や指導法の共有を通じて、授業の全体としての質的向上を目指す。</p>	<p><自己評価に対して></p> <p>(1) 教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に生徒の学力を向上させていただける時代にそったカリキュラムを組んでいただいているので安心感があります。 ・生徒が様々なことに興味を持てる様、選択科目が沢山あり充実していると思います。 <p>(2) 学習指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入試改革にも早い時期から対応され、より専門的にきめ細やかな指導がなされていると感じています。 ・英検取得について学力の底上げを期待したいと思います。 <p>(3) 進路指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位レベルの大学合格者が増えたと聞き、着実に学力の向上が結果に出ていると思いました。 <p>(4) 生徒指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの学びに行き届いた教員の方々はじめ、事務の方々の業務ならびに教育環境に、保護者の一人として感謝しております。 ・どんなに教育内容が充実しても、学校外でのマナーの乱れが評判にもつながるので、内外共にそれに見合った指導が更なる出願率の向上には必要だと思います。 <p>(5) 課外活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課外活動においても学力との両立が配慮されつつ、スケジュールも前もって教えて頂けるので、家庭でも予定がたてやすく有難いです。 <p>(6) 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの影響もあり、近年取り組んでこられましたICTの活用がさらに必要とされる時期に来ていると考えます。 <p>(7) 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・classiなどを通してタイムリーに情報を得ることが出来るので安心です。 <p>(8) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニングコモンズについて生徒の利便性とより多くの生徒が活用できるよう改装・拡充をさらに期待したいと思います。 ・現在の肩かけバッグが重たすぎるので、学校制定リュックの導入を急いで欲しい。 <p><保護者による学校評価について(過年度比較)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての項目において満足度が高い結果が出ているので安定していると感じます。満足度の少ない回答をされた保護者の意見を吸い上げ、問題を少しでも解決・検討して欲しいです。

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

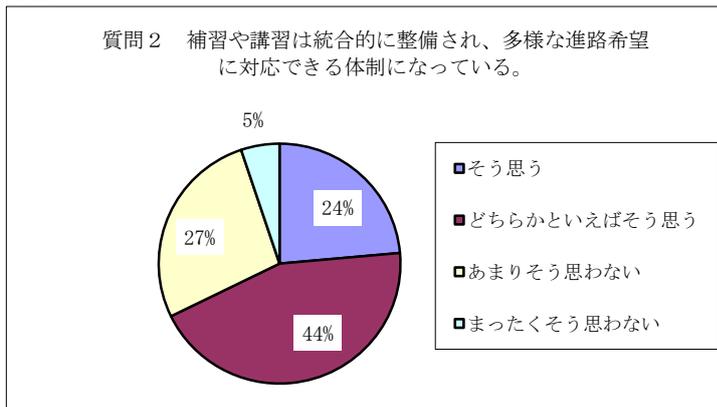
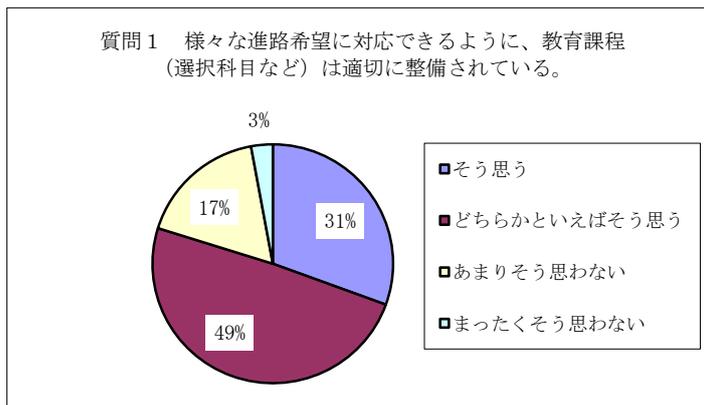
中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な 取り組み	評価指標	自己評価	課題と改善策
1 (1) 生徒学力の向上	①模試偏差値と大学入試結果向上を目指す。	①生徒一人一人の成績情報を把握し、中高6年間を見通した指導計画を策定する。	①エンロールメントマネジメント委員会による分析	①模試分析会を実施し、情報共有と分析を行った。プログラムごとに必要とされる情報を精査し、少人数の会議で詳細な分析資料を提示し、共有した。	①教科指導と模試成績の相関を検証し、シラバス作成の参考にする。また、新学習指導要領を元にした新カリキュラムの決定につなげる。
	②コース毎に必要とされる高い教育力・授業力を実現するため、教員研修を実施する。	②5教科は大学入学共通テストの研究、4教科はアクティブラーニング（以下AL）の実践をマニュアル化する。昨年に引き続きAL通信を発行し、授業実践を共有する。	②教育研究委員会による授業研究実践および保護者アンケート「学習指導」項目満足度70%	②昨年より以下の4点を継続した。保護者アンケートの満足度は67%となり、昨年よりも増加した。 1. 大学入学共通テストの研究 2. 中高6年間の5教科指導の体系化 3. AL通信発行による授業実践の教科を越えた共有化 4. 「学びみらいPASS」による生徒特性の把握	②保護者アンケート満足度の増加を継続し、目標達成を目指す。また、ALへの取り組みについて、模試結果と「学びみらいPASS」により有効性を検証し、教育指導を改善していく際の客観的指標とする。
	③生徒の多様な希望に応じたきめ細かい進路指導を行う。	③国公立大学で広がりを見せる推薦入試・AO入試の方式を研究する。また、英語外部試験やeポートフォリオの導入について各大学の動向を注視する。	③ヴェルジェコース委員会と進路指導部による報告および保護者アンケート「進路指導」項目満足度70%	③保護者アンケートの満足度は73%となり、目標を達成した。大学入試改革の初年度でもあり、進路ガイダンスの内容について、特に大学進学の詳細な情報が求められるプログラムで丁寧な説明を行った。専門講師による論文・面接指導の教員研修を行い、多様な入試に対応できる指導力養成を図った。	③進路指導への満足度を維持するとともに、さらなる向上を目指す。また、「生徒の希望進路の発見・実現」について個々への対応を充実させ、満足度向上を目指す。
	④生徒に考えさせ、精神的成長を促す指導を行う。	④生徒が自主的に考え行動する機会をつくる。 1. 校則の見直しおよび学校リュックの制定を進める。 2. 食堂利用率の向上を目指し、生徒とともにメニューの改善や食堂利用のあり方を考える。 3. 自治会・生徒会役員と教員が学校の問題について話し合うことで、生徒の精神的成長を図る。 4. 生徒間のいさかいを生み出しやすい環境がないかを再点検し、いじめの予防に努める。	④生徒指導部の年間計画および保護者アンケート「生徒指導」項目満足度80%	④以下4点を生徒指導部で実践した結果、保護者アンケート「生徒指導」項目は、昨年と同程度の78%となった。 1. 生徒の発想をもとに学校制定リュックの製作をすすめた。 2. 生徒の意見を参考に食堂メニューと食券の販売方法を見直した。 3. 生徒会はアイスクリーム販売、自治会は高校3年生の行事参加について教員と話し合い、課題と解決策を考えさせた。 4. 「先生向け生徒指導部だより」を用いて、生徒指導部で考えたいじめを生まない環境づくりのアイデアを全教員に周知し、各教員がいじめの予防策を考える契機とした。	④以下の4点を新たな課題として取り組み、保護者アンケートにおいて肯定的な意見が80%を超えるよう努力する。 1. 学校制定リュックを製作し導入する。 2. 衣替えの時期を見直す。 3. 自治会・生徒会を活性化させる。 4. いじめを生まない教室づくりを進める。新入生に対してSSTを行う。

中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な 取り組み	評価指標	自己評価	課題と改善策
1 ② 学習環境の強化	①先進的な教育活動を研究し、ICTを利用した個別の学習機会を拡大する。	①ラーニングcommonsおよびグローバルラウンジをAL実践の場として、ICT機器を活用した授業やオールイングリッシュの環境を提供する。	①管理職と各部長で構成する学校運営会議での議論および保護者アンケート「安全管理」項目満足度90%	①ラーニングcommonsを活用したALの取り組みが浸透し、放課後はグローバルラウンジにネイティブ教員が常駐した。保護者アンケートの満足度は昨年度と同程度の89%となった。	①ラーニングcommonsを活用したALの指導方法を共有し、より効率的で発展的な授業の構築を目指す。また、保護者アンケートの満足度維持を目指す。
1 ③ 指導体制の充実	①エンロールメントマネジメントを実施し、成績等の生徒情報をビッグデータ化する。 ②進路分析会を実施し、模試成績による現状把握と教員間での目標共有を行う。 ③シラバス見直しを行い、コース・学年の資格取得や模試偏差値に目標を設定する。	①大学入学共通テストに対応するため、AO入試を含む各大学の問題傾向分析および蓄積を推し進める。 ②模試分析会を継続し、指導を行う教員全員で成績状況を適宜把握すると同時に、その最適化を進める。 ③大学入学共通テストでの英語4技能および外部検定導入に向けて、各学年で英検取得の目標に応じた指導を行う。	①エンロールメントマネジメント委員会と教務部による分析および保護者アンケート「教育課程」項目満足度80% ②エンロールメントマネジメント委員会と進路指導部による分析および保護者アンケート「進路指導」項目満足度70% ③学校運営会議による検討および教務部と各教科会との協議および保護者アンケート「学習指導」項目満足度70%	②教務システムへの各部署からのデータ蓄積を継続し、生徒情報の一元化に取り組んだ。保護者アンケートも満足度79%となり、ほぼ目標を達成した。 ②中高6年間を見越した分析会を行った。1学期に中1～中3と高1・高2の全体成績を共有した。2学期にはプログラム単位で現状把握と今後の方針を確認した。高3は成績と志望大学を詳細に検討した。保護者アンケートは71%だった。 ③教育課程を改定および行事の見直しを行い、受験指導の充実を図った。新学習指導要領に即して、英検2級と準2級の取得目標学年を設定した。保護者アンケートの満足度は61%だった。	①蓄積された生徒情報データの分析を行い、新学習指導要領でのカリキュラム策定に活用する。引き続き、保護者アンケートの満足度80%以上の維持を目指す。 ②分析会の内容を各教科で共有し、生徒一人ひとりの希望進路の実現に必要な対応を検討する。保護者アンケートについて肯定的な意見の割合をさらに上昇させる。 ③次期学習指導要領の研究を引き続き行い、新カリキュラムの原案を策定する。保護者アンケートについて肯定的な意見の割合をさらに上昇させる。
2 ① ガバナンスの強化	①クラス数および教員数に応じた組織力の強化を行う。	①学級や学年の業務をサポートする中高部長の役割を明確化し、よりきめ細かなフォローを行う。	①本部と管理職の協議	①中学校校長、高校部長がそれぞれ学年主任会に参加し、学校運営会議への課題の吸い上げや、学年間の業務引継ぎがスムーズに進むよう補助を行った。	①学年毎の1年間の動きをまとめ、業務負担と効率性のバランスを考えながら内容と方法を精選していく。
2 ② 教職協働による組織風土の改革	①データ分析の精度向上を目指す。 ②事務機能を強化し、教職協働を促進する。	①web出願システムと連動した入試行事アンケート集計プログラムの運用を開始する。 ②業務の実状に合わせて、事務局の再編成を行う。	①入試広報部とアドミッションセンターによる協議 ②教頭・本部・事務局による協議	①web出願システムの行事分析とアンケートの併用で高い精度を維持しているため、マークシートリーダーの導入は見送りとなった。 ②事務局を幼小担当の第一かと中高担当の第二課に再編成した。	①マークシートリーダーの必要性を再検討し、分析作業の迅速化と業務軽減の両立を目指す。 ②施設改装を行い、第一課と第二課にそれぞれ部屋を準備する。

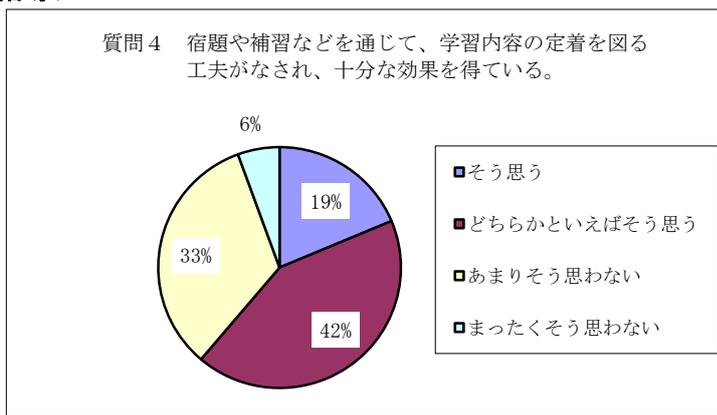
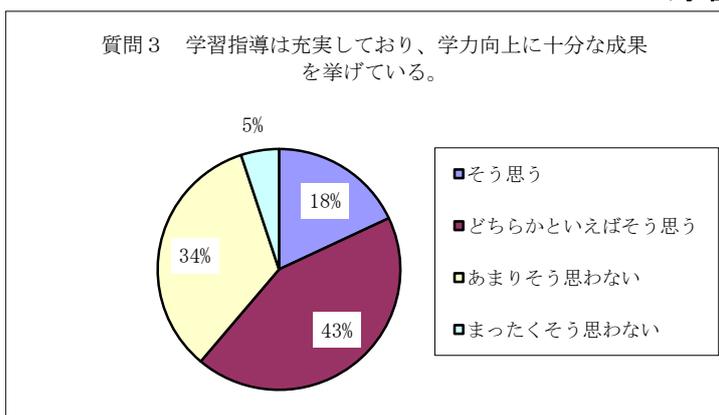
中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な 取り組み	評価指標	自己評価	課題と改善策
2 3 教育環境の整備	①生徒数に対して適正な教室数を確保する。	①教室の適切な改築や配置換えを行う。	①管理職および学校運営会議による協議および保護者アンケート「安全管理」項目満足度90%	①生徒数に応じて教室・設備の増設・補充を行った。また、グローバルラウンジを開設した。保護者アンケートの満足度はほぼ目標を達成することができた。	①ラーニングコモンズおよびグローバルラウンジの拡充など、生徒の利便性を考えた改装を計画する。保護者アンケートの満足度90%維持を目指す。
3 1 募集強化による予算基盤の安定	①中学での入試行事参加者を増やし、実出願率の上昇を目指す。 ②高校での入試行事参加者を維持し、専願者数の上昇を目指す。	①接触者の数だけでなく、行事の質を担保することで満足度を高める。 ②中学訪問の回数と頻度を維持すると同時に、ダイレクトメールなどでの入試情報提供を行う。	①入試広報部とアドミッションセンターによる分析および保護者アンケート「その他」項目満足度80% ②入試広報部とアドミッションセンターによる分析	①接触者に対する満足度をあげることに努め、昨年比で出願数を維持することができた。「この学校に入学させて良かった」と回答した保護者は82%に至った。 ②適切な時期に適切な数の行事リーフレットを各中学校へ送付した。また、一つの中学校への訪問回数を増やした。	①漸減する中学受験人口に対して、引き続き入学者数を確保するための施策を考える。入学満足度についてもさらなる向上を目指す。 ②進路の多様性など、本校独自の教育をアピールすることで、高校入学者数の増加を目指す。

<2019年度 帝塚山学院中学校高等学校 保護者による学校評価アンケート結果>(委員+一般)

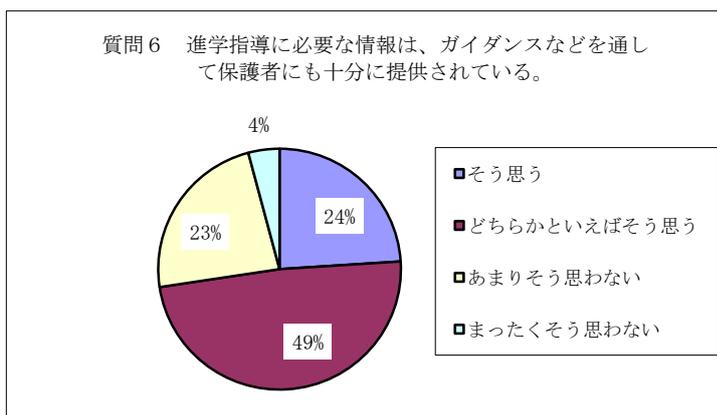
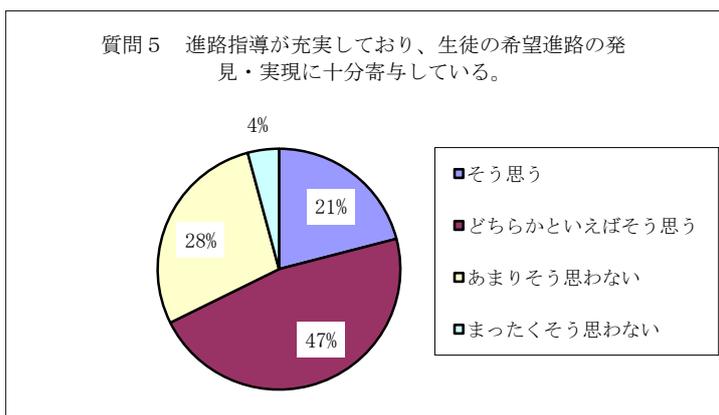
<教育課程>



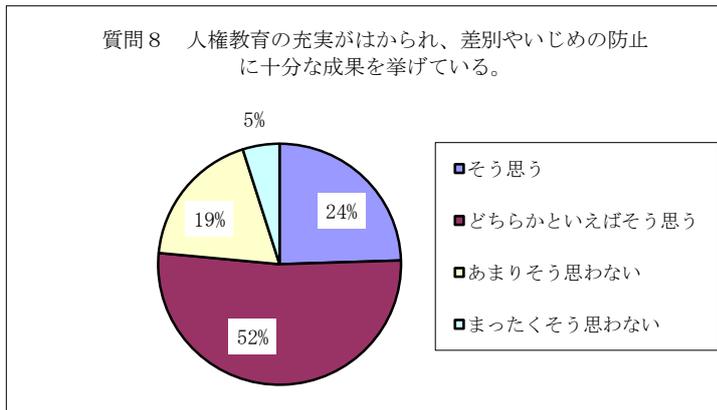
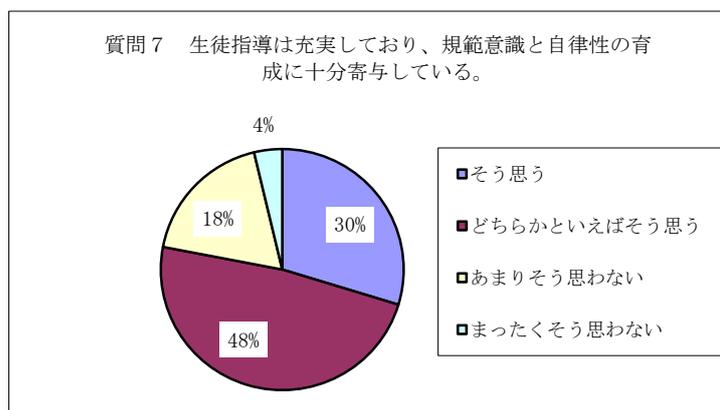
<学習指導>



<進路指導>

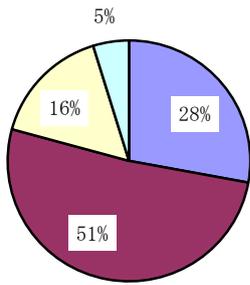


<生徒指導>



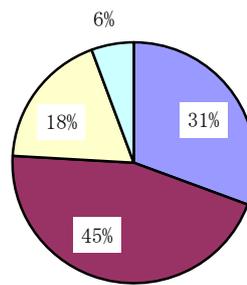
<課外活動>

質問 9 部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに、生徒に十分な指導が行われている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

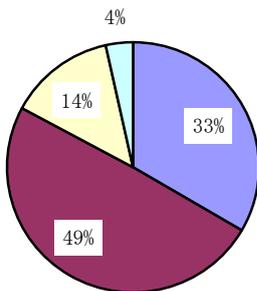
質問 10 学校行事は充実しており、生徒の自主性の育成に役立っている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

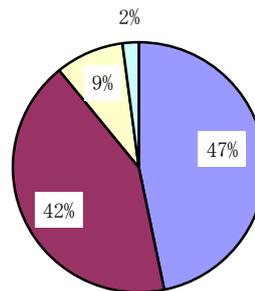
<安全管理>

質問 11 登下校の安全や交通マナーに関する指導が、十分なされている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

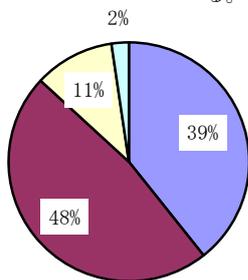
質問 12 施設・設備は安全かつ衛生的に管理・整備がなされている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

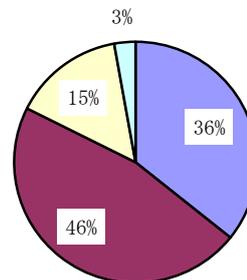
<情報発信>

質問 13 授業参観やPTA行事は適切な頻度で行われており、学校の様子をうかがい知る機会として機能している。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

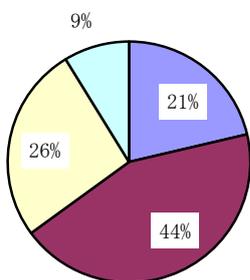
質問 14 学校からのお知らせ文書などを通じて、必要な情報を不足なく得ることができる。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

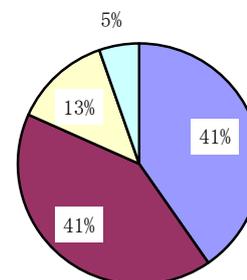
<その他>

質問 15 教員はチームワークがとられており、どの教員に相談しても、一貫した対応が期待できる。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

質問 16 この学校に入学させてよかった（知り合いや親戚にもこの学校を勧めたい）と思う。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない